



Webデザイナー /
女性のライフワークサポーター
福浦香奈

子供には私しかない。何度もその考えを肯定し
今の自分でもできる働き方を探していました。

近年、多様な働き方や生き方が肯定的になってきましたね。

特に女性のライフステージの変化にもデメリットのない働き方を国や企業は取り組んでいるように感じます。会社員として二社経験をした中でのお話を今日はしたいと思います。一社目は、地元企業の販売職、二社目は東京に本社のある有智企業として地元で新設されたシステム開発などを行う会社。どちらも女性が活躍できる会社です。男女の差もなく、昇進も実力主義です。一社目に関しては世間が休日こそ販売チャンスサービスの業なので結婚や出産を機に退職する女性が多かったかな。当時短制度もなく正社員一択の選択では、ママとしては働きづらいう印象でした。私もパート制度ができたからこそ続けることができました。二社目は、長男を出産し、1歳6ヶ月で転職。転職の理由として、正社員、土日祝休み、安定した収入、挑戦したい分野。この4つが全て揃っていたのですぐに面接希望のメールを打っていましたね。

二社の経験を経て感じるの、共通して休みづらい。ということ。

小学校3年生までの時短制度や、看護休暇など制度は充実していても、人の感情の育てる必要があるように感じます。仕方ない、ママが好んで休んでいるわけじゃない。でも一度も経験をしたことのない人からしたらそんなに子供って熱出るの？と疑うことも確かです。大変ですね、承知しました。お子さんお大事に。わかっていても心からの言葉を投げているか、投げ掛けられているかは、自分自身の受け止めによって変わります。自分軸で受け止めようにも自分勝手になりそうで怖い。子供には私しかない。何度もその考えを肯定し、否定的でない居心地の良い働き方を探していました。

